

豊原駅リニューアルオープンセレモニーが盛大に開催されました

豊原駅の歌

豊原駅の歌 ～思い出さがし～

作詞：磯由起子
作曲：石田多朗

水は清き黒川の
強き流れ聞きながら
那須のすそ野にひっそりと

出逢いと別れ笑いと涙
思いでたどれば明治二十年

那須の水害も越えて来た

春はピカピカランドセル
夏はクワガタさがし
秋はかくれんぼ
冬はおしくらまんじゅう

けんかしたけれど すぐ仲直り
今日も僕たちの笑顔を待っている

澄んだ空気 さわやかな風
すべて桜とともに

関東最北端 豊原駅

制作した曲はQR
コードを読み取っ
て視聴することが
できます



▶豊原駅名誉駅長
星野明夫さん



3月23日、豊原駅の駅舎建替に伴う記念式典を開催しました。

式典では、3月1日に就任した豊原駅名誉駅長の星野明夫さん(菅野)がJR東日本から紹介され、地域おこし協力隊の石田隊員のプロジェクト「豊原駅の歌」が地元の小中学生、黒田原小学校音楽部によって披露されました。

また、成沢地区集落センターでは、成沢自治会によるけんちゃんうどんと、酪農とちぎ農業協同組合那須高原支所から牛乳が無料で振る舞われました。

「豊原駅の歌」は、式典の様子を含めた動画を作成するなど、町の定住促進や駅の利活用促進等に活用していきます。



▶「豊原駅の歌」を子どもたちが元気いっぱい大きな声で歌ってくれました

▶テップカットのあとにバルーンリリースを行いました

地域おこし協力隊の

大瀧剛さん

退任の

あいさつ



那須町に来てから丸3年が経ち、3月31日をもって協力隊を卒業しました。

これまで多くの町民の方々にお世話になりました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

任期中は編集者やウェブクリエイターの経験を生かし、町の情報発信力を高めるために取材やウェブサイトの制作を行ってきました。また、コミュニティサロン「伊王野陣屋」でのイベント企画やカフェの手伝いをしたり、町の自転車振興に関わってきました。

活動の一つひとつがとても充実していた一方、中途半端に終わってしまった活動もあり、とても反省しています。特に自転車振興では、全国のイベントへの出展や、町内のサイクルイベントの手伝いをしましたが、隊員発信の企画立案や卒業後の仕事につながるような仕組みを作れませんでした。期待を寄せていただいた方には大変申し訳なく思っています。

那須町はとてもイベントが多く、あちこちで出店の手伝いをしました。そこで気づいたことは「自分は



接客する仕事が好きだな」ということ。そこから自分でお店を立ち上げる道筋が生まれたのだと思います。なので、新たな自分の可能性を引き出してくれた那須町に来て、本当に良かったと思っています。意外と知られていませんが、地域おこし協力隊という制度には、2つの大きな目的があります。1つは「町の活性化に寄与し、町民の方と一緒にあらたな仕組みをつくること」。そしてもう1つが「卒業後も町に定住すること」です。ほとんどの元隊員が卒業後も町に住み続け、自ら仕事を立ち上げて頑張っています。

町の活性化という大きなテーマは2、3年でどうこうできるものではありません。卒業後も町で知り合った方々とこのテーマと向き合っていきたいと思っています。1人の町民として、これからもよろしく願いいたします。